2026年度 第8回 兵庫県ユース審判トレセン



11/15(日)に淳心学院にて
『**2026年度 第8回 兵庫県ユース審判トレセン**』を開催しました。

Introductoryコースは、『審判の入門コース』で、
まずは、審判に興味を持ってもらえるように様々な取り組みを実施しました。
副審だけでなく、主審の笛の吹き方やコイントスのやり方、ファウルかどうかを
見極めるコツも伝え、プラクティカルトレーニングやミニゲームでの実践を通じて、
難しさと楽しさを感じてもらいました。

挨拶、講義



審判員として大好きなサッカーにかかわることができるキッカケとして、審判のやりがいや魅力もお伝えしました。

ミスを恐れず
とにかく楽しむことを最優先とし様々なセッションに取り組んでもらいました。

シグナルや動き方のポイントとコツ







最初は自信がなかったが、
ポイントとコツを掴むと
自信を持って堂々とシグナルできるようになりました!!

プラクティカルトレーニング

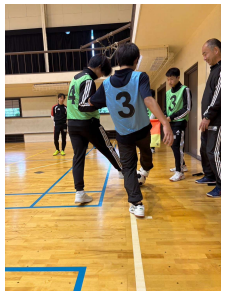




立つ位置によって
ボールの全体がラインを
完全に越えたかどうかの
見え方が変わってしまうことを実際に見て
確認してもらいました。

ファウルかどうかの見極めや、
ボールが出たかどうか、出た場合どちらが最後にボールに触れたかを実践してもらいました。



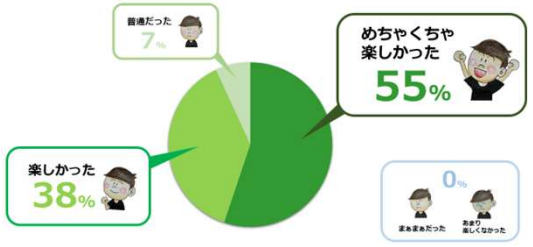


ミニゲーム

ミニゲームでは、
受講生に主審1回、副審2回ずつ担当してもらい、選手役の受講生やスタッフが『ズルさや悪さ』をし、間違えても、思い切って笛を吹いたりカードを出したり、楽しみながら実践してくれました。

オフサイドテスト

オフサイドテストは、それぞれ4ずつ実施(Walk２本、Jog2本)しました。
ビデオ撮影もし、正解率と分析を行い、後日、顧問の先生を通じてフィードバックします。



<受講生の感想>

最初は、審判は楽しくない、と感じていた受講生もIntroductoryコースに参加し、色々な経験をしたことで
『**めちゃくちゃ楽しかった**』『**楽しかった**』という感想を多くいただきました。
受講生の中から、審判に興味を持ち、ユース審判トレセンメンバーとして一緒に活動する方が増えたら嬉しく思います。